

景観まちづくりかわら版

浦添市景観まちづくり市民会議

発行日:平成18年12月4日発行
発行者:浦添市景観まちづくり事務局
(浦添市都市計画部美らまち推進室)
TEL:876-1234(内線4061~4064)
FAX:879-7138
E-Mail:tyuramachi@8761234.jp

第5号

第5回の景観まちづくり市民会議は、11月14日(火)に浦添市役所9階講堂で開催され、市民会議の委員をはじめ、都市計画課や文化課等の市の職員が参加しました。

今回は課題の確認や前回(第4回)で出された意見をもとに作成した「理念」や「目標」についての検討を行いました。それらはすぐに確定させるものではなく、作業が進む中で常に検証修正し、浦添らしい表現につくりあげていくことになりました。

話し合いが進むにつれ、メンバーの方々から景観形成にむけてのアイデアもたくさんでてきました。



大きな図面をみながら浦添市の課題や特性を確認中

◆理念・目標について・・・

◎理念の中に、一言で浦添市をイメージできるキーワードが必要。例えば別府は、「湯けむりのまち」と表現されているが、浦添は「てだこ」になるか。

◎住民が基本ということをきっちりと理念でおさえる。

◎まちを見回していくと、草むらにはゴミが捨ててあり、平気でたばこを捨てる人もいる。美しい浦添のまちをめざし、自然や緑などを大切にするウラシーンチュの心づくりが必要。理念の中にそういった浦添のこころを育む表現をもっと入れたい。

→竹富島では「うつぐみの心」、宮古では「あらがま精神」といった表現があるが、浦添の心や精神を表現できる言葉があればそれを入れていきたいが・・・。

→浦添はまちの顔がないとよくいわれる。首里以前の文化があるともいわれているところなので、今後言葉をつくって、内外に発信しよう。

などの意見交換がありました。

◆景観形成にむけた取り組み・アイデアについて・・・

・緑あふれる地域にするため、ブロック塀をなるべく植栽にし、生け垣にするように取り組む。(特に区画整理地内では)

・旧集落の湧水や拝所などの広場がある。景観の資源として、掘り起こして守ることを意識づける。

・グスクを中心としたまつりがあれば、浦添グスクに注目をもたせることもできる。

・海岸線については、防潮林などとセットで改善しなければならない。さらに、住民が活用できるような場所もあわせて整備し、海を守る必要がある。

・道路は透水性のある舗装をし、緑地帯を設けることによって、水の循環が守られる。

・58号沿線について、県で屋外広告の基準があると思うが、浦添市である程度誘導できるようなガイドラインをつくる。

・河川の浄化については、生活排水の問題があると思う。エコビレッジを設け、緑を守れないか。

・骨格道路の沿道については、大きな建物のセットバックをして、緑陰樹を植えるスペースを確保する。木を植えることについては、浦添市も補助をつけることができないか。

・浦添市の玄関口をみると、高架橋、インターチェンジ、トンネル等となっている。浦添に入ったサインとして、それらを修景し活用できないか。

・キャンプキンザーは、海岸線がまだ残っていて、カーミジーまでつながっているので、重要なポイントとなる。西海岸エリアは、大きな課題である。そこを念頭に置いて検討していく必要がある。